

2005年6月10日(金)

九州大学、日本経団連、映像産業振興機構(VIPO)は、本日、記者会見を開いて、コンテンツ・クリエイター育成事業をスタートすると発表しました。

この育成計画によって、向こう5年間にわたり九州大学で修士号以上の学位を持つ、コンテンツ・クリエイター人材を40人育成する予定です。

今回のプログラムは VIPO が関わる初の事業のお披露目となりました。(詳しくはプレスリリースをご参照ください。)

会見には九州から、源田先生、砂田先生が朝いちの飛行機で駆けつけてくださるとともに、経団連から産業本部の阿部副部長が出席。会見の中で紹介された源田先生による最新鋭のコンピュータ・グラフィックによる映像デモに、記者の方々が見入っていて、関心の深さをうかがわせました。

会見は1時間近くになりましたが、記者の方々の質問も多岐におよび、コンテンツ産業への期待をにじませています。

